事務事業及び予算の執行実績

（令和６年度分「一部令和７年度分を含む」）

静岡県立沼津商業高等学校

目　　次

事務事業の概要　・・・・・・・・・　１
事務執行の根拠法令調　・・・・・・・・・　１７
学校施設の概要　・・・・・・・・・　１８
在籍生徒調　・・・・・・・・・　２０
入学志願者及び入学者数調　・・・・・・・・・　２１
卒業生の動向調　・・・・・・・・・　２２
生徒の状況　・・・・・・・・・　２３
授業料収納状況調　・・・・・・・・・　２４
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調　・・・・・　２５
預金調　・・・・・・・・・　２５
委託料等歳出予算執行状況節別集計表　・・・・・・・・・　２６
委託料に関する調　・・・・・・・・・　２８
負担金支出調　・・・・・・・・・　３０
土木工事調　・・・・・・・・・　３２
建築工事調　・・・・・・・・・　３４
公有財産調　・・・・・・・・・　３６
借地借家等調　・・・・・・・・・　３７
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調　・・　３７
行政財産貸付・使用許可調　・・・・・・・・・　３８
主要備品調　・・・・・・・・・　４０
職員調　・・・・・・・・・　４１
職員の年齢調　・・・・・・・・・　４４
健康管理　・・・・・・・・・　４５

□□□□□□

事務事業の概要

1　概況

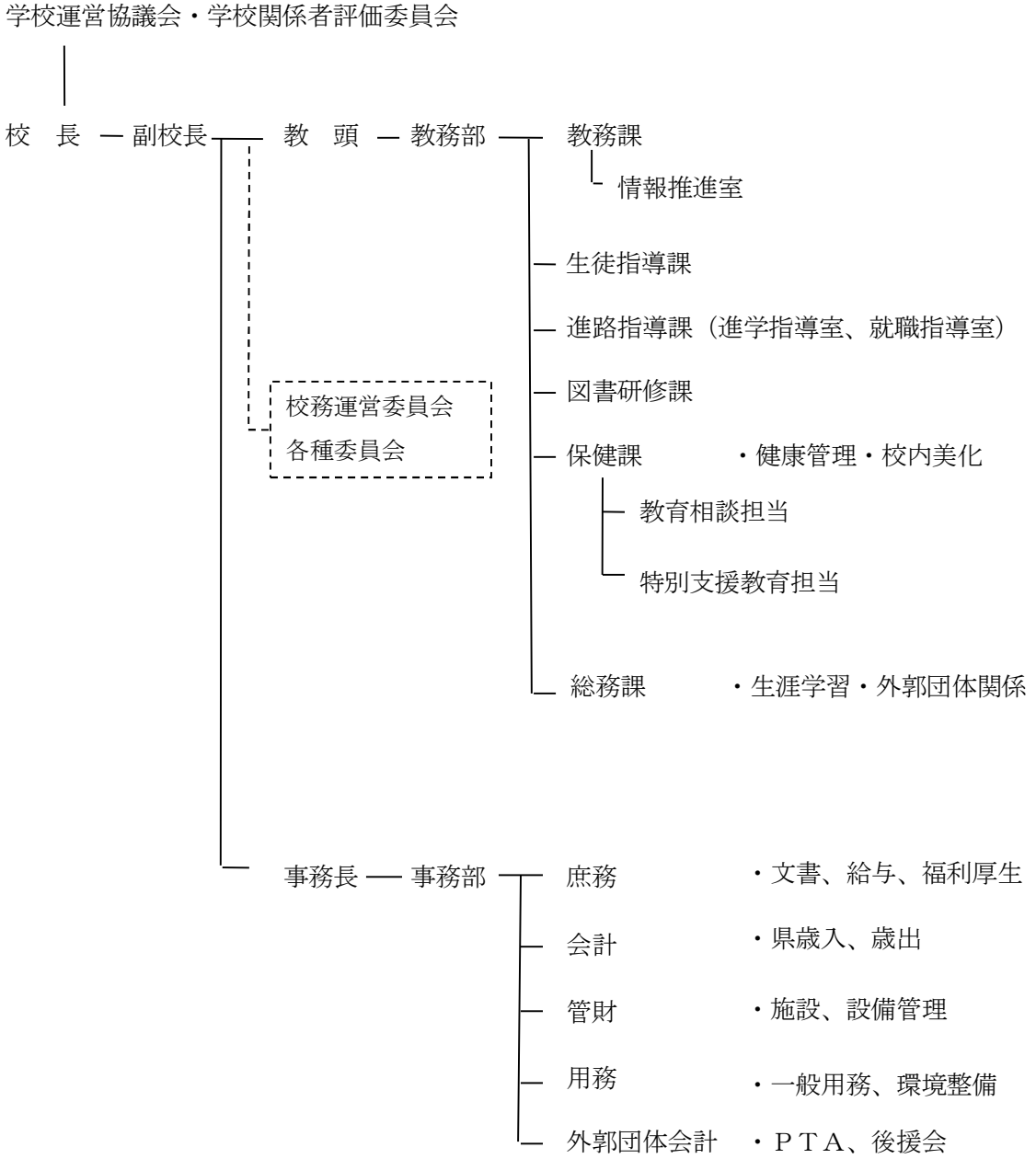
（1）学校の沿革

明治 31 年 11 月 30 日　沼津町立沼津商業学校として設立
明治 32 年　4 月　9 日　沼津町三枚橋蓮光寺を仮校舎として開校
明治 33 年 11 月 26 日　沼津町山神道に本校舎落成し移転
大正 11 年　4 月　1 日　県立に移管し静岡県立沼津商業学校となる。
大正 12 年　4 月 28 日　沼津町丸子に移転
昭和 17 年　4 月　1 日　静岡県立沼津第二商業学校（夜間課程）併設
昭和 19 年　4 月　1 日　工業学校に転換
昭和 20 年　7 月 16 日　戦災により校舎焼失
昭和 21 年　4 月　1 日　商業学校に復元
昭和 23 年　4 月　1 日　学制改革により静岡県立沼津商業高等学校となる。
昭和 41 年　2 月 10 日　学校の全面移転を清水町徳倉地先に決定し、起工式挙行
昭和 42 年 10 月 19 日　新校舎に移転
昭和 43 年　3 月 25 日　体育館・格技場完成
昭和 43 年　4 月　1 日　全日制経理科２学級、商業科６学級を設置
昭和 45 年　4 月　1 日　全日制経理科４学級、商業科４学級に改正
昭和 48 年　4 月　1 日　全日制経理科４学級、営業科・事務科各２学級に改正
昭和 49 年　4 月 14 日　生活研修館完成
昭和 62 年　3 月 31 日　情報処理教育実習棟完成
昭和 62 年　4 月　1 日　全日制経理科・会計科・情報処理科・営業科各２学級に改正
事務科募集停止
平成　2 年　4 月　1 日　全日制経理科・会計科・情報処理科・国際経済科各２学級に改正
営業科募集停止
平成　4 年　4 月　1 日　全日制会計科３学級、情報処理科・国際経済科各２学級に改正
経理科募集停止
平成　5 年　4 月　1 日　全日制会計科・国際経済科各３学級、情報処理科２学級に改正
平成　8 年　4 月　1 日　全日制会計科３学級、情報処理科・国際経済科各２学級に改正
平成 11 年　4 月　1 日　全日制会計科・情報処理科・国際経済科各２学級に改正
平成 14 年　6 月 14 日　管理棟・普通教室棟地震対策緊急整備工事完成
平成 15 年　4 月　1 日　全日制国際ビジネス科４学級、情報ビジネス科２学級に改正
平成 16 年　4 月　1 日　全日制国際ビジネス科３学級、情報ビジネス科２学級に改正
平成 19 年　4 月　1 日　全日制国際ビジネス科・情報ビジネス科各３学級に改正
平成 19 年　7 月 31 日　特別教室棟地震対策緊急整備工事完成
平成 20 年　3 月 24 日　普通教室棟トイレ改修工事完成
平成 20 年　4 月　1 日　全日制国際ビジネス科３学級、情報ビジネス科２学級に改正
平成 21 年　4 月　1 日　全日制国際ビジネス科４学級、情報ビジネス科２学級に改正

平成 23 年　３月 31 日　定時制閉課
平成 23 年　４月　１日　全日制、国際ビジネス科３学級、情報ビジネス科２学級に改正
平成 24 年　４月　１日　全日制、国際ビジネス科４学級、情報ビジネス科２学級に改正
平成 25 年　４月　１日　全日制、総合ビジネス科３学級、情報ビジネス科２学級に学科改編
令和　７年　４月　１日　全日制、総合ビジネス科２学級、情報ビジネス科２学級に改正

（２）組織図

校務分掌表



２　目指す学校像

(1) スクール・ミッション

伝統や実績を兼ね備えた県東部地域の商業教育の拠点校として、販売実習「沼商屋」などの行政や企業と連携した実践的・体験的な活動、地域課題を探究する活動及びビジネスマナー教育を通して、産業界及び地域社会を担う人づくりを目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
【自主】 ・個々の資質と能力を伸ばし、主体的に行動する力を育成します。 ・様々な課題に対して前向きに、探究心を持って解決に導く力を育成します。 【友情】 ・他者の多様な考えや価値観を受容する寛容性を育成します。 ・他者と協力・協働し、互いを高め合う心と行動を育成します。 【進取】 ・創造性を重んじ、新たなアイデアを生み出す力を育成します。 ・目標に向かって挑戦し、最後までやり抜く力を育成します。	・多様な進路希望に対応したコースと選択科目を通じた学びを推進し、基礎学力の定着と専門的な知識と技術を習得し、高度な資格取得を目指します。 ・ＩＣＴを利活用した協働的な学びや個別最適な学びを推進します。 ・「総合的な探究の時間」におけるコミュニケーション力、ビジネスマナー等を習得するための学びを推進します。 ・授業や部活動等において、地域との交流や企業・行政等との連携による実践的・体験的な学びと課題解決力や「繋がる力」を習得するための学びを深めます。	・校訓「自主」「友情」「進取」の精神を理解し、基本的生活習慣や規範意識を身に付け自己を高めようとする生徒を求めます。 ・ビジネスや情報技術に関心があり、本校入学時に前向きな目標を持っている生徒を求めます。 ・専門的な知識や技術の習得に加え、探究活動や部活動等に意欲的に取り組む生徒を求めます。 ・地域の課題に関心を持ち、他者との関係性を大切にし、課題解決に向けて率先して行動し、地域社会の発展や活性化に貢献しようとする生徒を求めます。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

① 多様な進路希望に対応した支援・指導体制の確立と進路意識の高揚と進路実現を図る。

② ビジネスで求められる礼儀やマナー、倫理観、人権意識や感覚を身に付け、他者と協働し、品位ある社会性に優れた生徒の育成を推進する。

③ 社会の変化や生徒の実態を踏まえ、教育課程の工夫・改善を図り、生徒の基礎学力の向上、専門性の伸長、自ら学び考える力を育成するための指導体制を確立する。

④ 学び直しによる確かな基礎学力の定着と、学びを広げる ICT 活用に関する教育の充実を図る。

⑤ 産学官連携や保護者等と連携し、地域に根ざした教育活動を行い、開かれた学校づくりを推進するとともに、地域社会を理解し、地域に貢献しようとする郷土愛を育む。

⑥ 学校行事や部活動、ボランティア活動等を充実させ、健やかな心身、広い見識、豊かな感性の生徒を育成する。

⑦ 効果的な予算執行と、生徒・教職員の健康を保持するための教育環境の整備・充実を図る。

３　監査対象期間の年度別学校経営の取組等

（１）　令和６年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	**学校や社会のルールを順守する態度及び基本的生活習慣を身に付けるための指導を徹底する。**	□１年間皆勤50% □校則違反、SNS 等不適切使用、交通事故・違反数が前年度より減少	▲１年間皆勤19.5% ■校則違反、SNS 等不適切使用、交通事故・違反数が前年度より減少（但し、交通事故件数は横ばいであった）	B	・学年末までの皆勤者数は１年生34 名、２年生 43 名、３年生 24 名計 101 名／517 名、19.5%である。目標には遠く及ばなかった。 ・校則違反が昨年度 21 件から 8 件へ大幅に減少した。なお、SNS 等不適切使用に関しては、今後も、より注意が必要となる。 交通マナーに関して、事故件数は横ばい（５件）、違反数は 258 件から 311 件へ増加した。街頭指導や違反生徒への継続的な指導を行いたい。
イ	キャリア教育の視点を踏まえた様々な取組により、生徒の多様な進路希望に対応する。	□進路決定率100% □進路実現に向けた説明会、ガイダンス、行事の充実 進路情報・相談の充実　90%以上	■進路決定率100% ■進路実現に向けた説明会、ガイダンス、行事が充実90.7% ▲進路情報・相談が充実85.4%	A	・進路未決定者は２名のみで、１名は、現在、共通テスト受験に向けて学習に励んでおり、１名は、アルバイトにて就業することを希望している。 ・就職については１次試験不合格者が 1 名のみと例年に比べ少なく、大きな成果が見られた。引き続き、受験企業先と受験者のミスマッチを防ぐ取組を進める。 ・進学については、多くの生徒が、希望する進路先への進学を決定することができた。今後も、諦めずに進路決定を成し遂げる雰囲気を大切にしたい。 ・インターンシップ（２年生生徒･81 名参加）や進路ガイダンス、各企業を招いた職業講話は進路実現に向けた一助となった。 ・各学年の進路シラバス（行事）の計画的な実施を進める。

ウ	**専門学科の特色を生かして、生徒の多様な進路希望に対応する教育課程を実施する。** **「主体的・対話的で深い学び」により、生徒個々に必要な資質・能力を育む。** **授業（指導）と評価の一体化に取り組む。** 基礎学力の定着と、応用・活用する能力を育成する。	□教育課程検討委員会の開催 □外部講師による教員研修開催 □週５日以上の家庭学習、基礎学力が身に付いたと実感できる生徒75%以上 □月に一冊以上の読書率70% 【資格取得】 □全商１級１種目以上100% 会計コース全商簿記１級取得率60% □情報技術者試験 基本情報：システムコース IT パスポート：IT コース 両コースともに全国平均以上	■教育課程検討委員会の開催 ■外部講師による教員研修開催 ▲週５日以上の家庭学習に取り組んでいる生徒 26.9% ■基礎学力が身に付いたと実感できる生徒 76.7% ▲月に一冊以上の読書率57.0% 【資格取得】 ▲全商１級１種目以上 45%（73/161） 会計コース全商簿記１級取得率 48%（28/58） ▲情報技術者試験 基本情報：システムコース３名 IT パスポート：IT コース４名	B	・教育課程検討委員会を５月に実施したが、今後も、教育課程の工夫を議論すべく実施を予定している。 ・外部講師による教員研修を２回実施し、充実した研修を実施することができた。 ・家庭学習へ取り組む生徒の割合が低く、大きな課題として残っている。生徒の家庭での学習時間確保に向け、手立てを構築していく必要がある。一方、検定取得に向けた学習に一生懸命取り組むことで、生徒は、基礎学力が身に付いたと実感することができていると感じている。 ・朝読書の更なる充実を通して、生徒の読書率向上につなげたい。 ・２年生で日商１級に合格する生徒も出るなど資格取得に向けて高い意識をもつことができた。 ・基本情報合格者３名 ・IT パスポート合格者４名 ・情報系の資格試験は難易度が高く、目標設定から見直す必要がある。

エ	学校行事や部活動の活性化により、学校の牽引力となり、将来にわたり地域社会で活躍できる、力強い人材を育成する。	□県大会出場10部活以上 □東海大会出場 ３部活以上 □学校行事や部活動に積極参加し、充実している。80%以上	▲県大会出場 ８部活 ■東海大会出場 ４部活 ■学校行事に積極参加し、充実している92.7% ■部活動に積極参加し、充実している86.7%	A	・多くの生徒が積極的に部活動に参加している一方で、転部する生徒が増加していることは、課題として残っている。 ・各種学校行事では、生徒会や委員会を中心に、生徒が主体的に活動しており、学校の活性化につながった。
オ	**地域との連携や、地域への情報発信を活発に行い、開かれた学校づくりを推進する。** **中学校、学習塾等への広報活動を積極的に行う。** ＰＴＡ活動を整理し、主催事業への参加率を向上させる。	□地域との連携事業 20種類 □ＨＰ更新１週間に 1 回以上 □ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ更新 その都度 □オープンスクール １回以上 □中学校訪問 年間 40校 □中学校への説明会 40校 □ＰＴＡ総会出席率 40%以上	■地域との連携事業 20種類以上 ■ＨＰ更新１週間に 1 回以上 ■ﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｲﾈｰｼﾞ更新 その都度 ■オープンスクール １回以上 ■中学校訪問 年間 48校 ▲中学校への説明会 29校 ■ＰＴＡ総会は書面開催	A	・24回目となった沼ショップも、企業や行政（清水町等）との連携により充実度が増した。また、令和５年度からスタートした観光コースの取組等を通して、情報発信に努め積極的に魅力を伝えることができた。 ・Ｃラーニングや公式インスタグラムを利用して情報発信に努めた。また、オープンスクールや中学校訪問を通じて、開かれた学校づくりの推進や積極的な広報活動を行うことができた。 ・中学校訪問48校は、昨年比18増である。 ・出張授業１校、中学２年生等の高校訪問の受け入れ２校、マナー講座実施４校を含め、29 校での説明会等を実施した。管理職だけでなく、より多くの教員が関わるような形式としていきたい。 ・ＰＴＡ総会は、新校舎建築工事による駐車場不足等により書面開催とした。

カ	**開かれた教育課程の実現及び観点別学習状況による評価を踏まえた授業の在り方・改善を組織的・計画的に取り組む。** **ギガスクール構想に対応する生徒の一人一台端末導入及び活用を促進する。**	□授業評価アンケート　年２回 □公開授業週間年２回（６週間） □観点別学習状況による評価・評定　各学期 □校内外の研修機会拡大年３回 □教員が指導を工夫している、 授業がわかる。90%以上 □興味関心がわく授業 80%以上	■授業評価アンケート 年２回 ■公開授業週間　年２回（６週間） ■観点別学習状況による評価・評定　各学期 ■校内外の研修機会拡大年３回 ▲授業は、教材や教え方に工夫がされている 83.0% ▲授業の内容が概ね理解できている 82.5% ▲興味関心がわき、学びたい授業となっている 75.1%	B	・授業の質向上を目指して、引き続き授業評価アンケート、公開授業週間を継続していく。公開授業週間については、より効果的なものとなるよう工夫する必要がある。 ・観点別評価については、各学期、完全実施しており、軌道に乗りつつある。引き続き、ミスがないようにしていく。 ・研修においては、生成ＡＩの研修、授業改善に関する研修、特別支援関係の研修を実施し、充実を図ることができた。 ・全教員が、生徒の学力に合わせて、指導を工夫していると捉えているものの、生徒側から設定された目標は達成することができなかった。生徒の実態やニーズを的確に把握し、学びたい授業へと改善を図ってくことが必要である。
キ	校務分掌等の既存組織の再編と改善を行い、業務の機能性と人材の適切な配置を目指す。 校務用ＰＣを活用した働き方改革（業務改善）を実施する。 教職員の健康維持及び資質向上に係る取組や研修を積極的に推進する。	□ストレスチェック等で課題を抱える教職員 ０人 □NESPC の業務活用率 100% □仕事へのやりがいを感じている教職員 80%以上	■ストレスチェック等で課題を抱える教職員 ０人 ■NESPC の業務活用率 100% ■仕事へのやりがいを感じている教職員 86.7%	B	・ストレスチェック等で課題を抱える教職員は０人であった。年間を通して、風通しのよい職場づくりを進めることができた。 ・時間外在校等時間の長い教職員の多忙感の払拭に配慮していく。 ・令和６年度より完全退庁時刻 20:00 を設定した。同時に、業務分担の適正化・平準化の推進を図ってきたものの、道半ばである。今後の課題としたい。

		□教職員が担う業務分担の適正化・合理化・平準化、相互補完が図られている。80%以上	▲業務分担の適正化・合理化・平準化、相互補完が図られていると感じている教職員 48.9%		
ク	自ら心身の健康管理ができる生徒を育成する。 **教育相談機能及び特別支援教育体制を強化し、生徒の心の健康を促進する。** 効果的な防災教育・防災訓練を実施し、リスクマネジメントによる危機管理体制の強化を図る。	□検診の結果で通院生徒100% □いじめ・悩み調査 年３回 □ケース会議実施 年３回以上 □特別支援学校との連携強化 □困った時に相談できる先生がいる。 70%以上 □防災訓練年２回 □交通安全教室　年１回 □施設設備安全点検 学期１回 □地域防災訓練参加率 70%以上 □AED 実習の実施	▲検診の結果で通院生徒40% ■いじめ・悩み調査 個別対応 ■ケース会議を必要に応じて実施 ■特別支援学校との連携強化 ■困った時に相談できる先生がいる。 77.7% ■防災訓練 年２回 ■交通安全教室 年１回 ■施設設備安全点検 学期１回 ▲地域防災訓練参加率 19.6% ■AED 実習の実施	A	・検診の結果で、再検査のために通院した者は 40%であった。家庭の協力が必要であり、100%とはいかなかった。 ・いじめ・悩み調査については、相談という形で、個別に対応した。 ・ケース会議については、必要に応じて実施した。 ・学校評価アンケートより、困った時に相談できる先生がいると答えた生徒は、77.7%であった。目標は達成したものの、より高いレベルを目標としたい。 ・交通安全教室では、警察官、交通指導員から指導していただき、自転車運転時の危険性を再確認することができた。 ・地域防災訓練は、アフターコロナとして実施形態の変更が多くあったこともあり、単純に参加率で評価することはできない。目標設定の見直しを図りたい。 ・防災訓練を年２回、施設設備安全点検を学期１回、AED 講習会を１回実施した。

ケ	**法令を遵守し、正確・迅速な事務及び会計処理を行う。** 予算の適正な執行に努め、学校の特色化を図る。 学校施設の保全に努め、教育環境の整備と安全・安心な学校づくりを推進する。	□コンプライアンス研修毎月実施 □教育活動に必要な経費の確保 （予算執行残額0.5%以下） □定期監査、会計・物品指導検査等における指導事項なし □施設点検を月１回以上実施 □起案、決裁等による保管徹底	■コンプライアンス研修毎月実施 ■教育活動に必要な経費の確保 （予算執行残額0.5%以下） ■定期監査、会計・物品指導検査等における指導事項なし ■施設点検を月１回以上実施 ■起案、決裁等による保管徹底	A	・各職員会議時に、コンプライアンス研修を実施した。実施形態を工夫することで、前向きに取り組んでいく形を確立することができた。 ・厳しい予算と物価高騰の中、優先順位をつけ有効に予算を執行した。次年度も、年間計画の重要性を職員に伝え、予算への関心と意識を高めたい。 ・コミュニケーションを取り、指摘事項のない信頼できる学校につなげたい。 ・新校舎工事が行われる中、現校舎の老朽化への対応に苦慮している。こまめな安全点検を、次年度においても継続する。 ・文書管理と分掌の関係が不明になっている部分が課題となった。次年度は、分掌の役割分担を明確にすることで分かりやすい文書管理につなげたい。

（２） 令和７年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	**学校や社会のルールを順守する態度及び基本的生活習慣を身に付けるための指導を徹底する。**	・教職員の共通認識のもと、統一した基準による指導を行う。 ・生徒及び保護者に校則を周知する。 ・情報リテラシー・情報モラルに関する指導や講習会を定期的に実施する。 ・毎日の登校指導を実施する。	□１年間皆勤 50% □校則違反、SNS 等不適切使用、交通事故・違反数が前年度より減少
イ	キャリア教育の視点を踏まえた様々な取組により、生徒の多様な進路希望に対応する。	・面接・論文指導等、進路シラバスに沿った個別指導を実施する。 ・生徒・保護者の進路意識の高揚を図るための講演会や説明会を実施する。 ・行政、企業、大学等との連携による就業・就学体験を実施する。	□進路決定率 100% □進路実現に向けた説明会、ガイダンス、行事の充実 進路情報・相談の充実　90%以上

ウ	**専門学科の特色を生かして、生徒の多様な進路希望に対応する教育課程を実施する。** **「主体的・対話的で深い学び」により、生徒個々に必要な資質・能力を育む。** **授業（指導）と評価の一体化に取り組む。** **学習習慣と基礎学力の定着と、オンライン学習の応用・活用する能力を育成する。**	・主体的・協働的に学習する態度を育てるための初期指導（グループエンカウンター等）を実施する。 ・丁寧でわかりやすい授業を実施し、観点別評価を用いた授業改善に取り組み、指導と評価の一体化を図る。 ・「高校生のための学びの基礎診断」を活用して生徒の基礎学力を把握し、指導方法の見直しと改善につなげる。 ・「スタディサプリ」の利活用等により、学習習慣と基礎学力の定着を図る。 ・適度な量の課題を課すことにより、予習・復習、資格取得のための学習など、家庭学習の習慣化を図る。	□教育課程検討委員会の開催 □外部講師による教員研修開催 □週５日以上の家庭学習、基礎学力が身についたと実感できる生徒 50%以上 □月に一冊以上の読書率 70% 【資格取得】 □全商１級１種目以上　100% 会計コース　全商簿記１級 取得率 60% □情報技術者試験 基本情報：システムコース IT パスポート：IT コース 両コースともに全国平均以上
エ	学校行事や部活動の活性化等により、将来にわたり地域社会で活躍できる力強く頼もしい人を育成する。	・部活動の意義を理解し、心技体を鍛え、良好な人間関係を構築する。 ・生徒会、委員会活動における自主性・主体性を重視し、実効性のある活動により学校を活性化させる。	□県大会出場　　10 部活以上 □東海大会出場　３部活以上 □学校行事や部活動に積極参加し、充実している。　80%以上
オ	**地域との連携や、地域への情報発信を活発に行い、開かれた学校づくりを推進する。** **中学校、学習塾等への広報活動を積極的に行う。** ＰＴＡ活動を整理し、主催事業への参加率を向上させる。	・産学官連携を積極的に推進する。 ・ホームページの充実を図る。 ・インスタグラム等を活用して最新情報を発信する。 ・中学校訪問や学校説明会等を通して沼商の魅力や進路実績を伝える。 ・PTA 活動の整理と改善を推進する。	□地域との連携事業　20 種類 □ＨＰ更新　１週間に１回以上 □オープンスクール　２回以上 □中学校訪問　年間　40 校 □中学校への説明会　40 校 □ＰＴＡ総会出席率 40%以上
カ	**開かれた教育課程の実現及び観点別学習状況による評価を踏まえた授業のあり方・改善を組織的・計画的に取り組む。** **ギガスクール構想に対応する生徒の１人１台端末の利活用を促進する。**	・観点別評価の規準を見直し、教科間で共有する。また、生徒・保護者への説明責任を明確にする。 ・公開授業週間において、他教科を含めた授業参観を計画的に実施し、教員個々の授業改善を促す。 ・１人１台端末を利活用した授業支援アプリの活用やデジタル教材、Ｃラーニング等を用いた効果的な授業展開について組織的に研究する。	□授業評価アンケート　年２回 □公開授業週間年２回（６週間） □観点別学習状況による評価・評定　各学期 □校内外の研修機会拡大年３回 □教員が指導を工夫している、授業がわかる。　90%以上 □興味関心がわく授業 80%以上

キ	校務分掌等の既存組織の円滑な運営のために改善を行い、業務の機能性と教職員の適切な配置を目指す。 校務用 PC を活用した働き方改革（業務改善）を実施する。 教職員の健康維持及び資質向上に係る取組や研修を積極的に推進する。	・部活動ガイドラインに沿った、活力溢れる部活動運営に努め教職員のワークライフバランスを確保する。 ・教職員がタイムマネジメントを意識し、「定時退勤の日」の設定や校舎施錠時間(20 時 30 分)とする。 ・出退勤管理システムによる勤務時間の管理と管理職による指導を行う。 ・多忙化解消や時間外業務の縮減を継続的に検討し、実行する。	□業務用パソコンの業務活用率 100% □仕事へのやりがいを感じている教職員　　80%以上 □教職員が担う業務分担の適正化・合理化・平準化、相互補完が図られている。　　80%以上
ク	自ら心身の健康管理ができる生徒を育成する。 人権教育の推進を図る。 **多様な生徒の支援及び特別支援の充実を図る。** 効果的な防災教育・防災訓練を実施し、リスクマネジメントによる危機管理体制の強化を図る。	・特別支援学校のセンター的機能を利活用した研修等を計画的に実施する。 ・いじめや悩みに対して早期に発見し対応できる体制を構築するとともに、教職員のアウトリーチを強化する。 ・教職員間の情報共有を図り、生徒が相談しやすい環境づくり、SC・SSW 等専門家との連携・協働を推進する。 ・特別な支援を必要とする生徒に対して、可能な限りの配慮を行う。 ・訓練や講話を通して、教職員の危機管理意識を醸成し、災害時及び緊急時のマニュアルを全員で確認し備える。	□検診の結果で通院生徒 100% □いじめ・悩み調査　年３回 □ケース会議の実施 □特別支援学校との連携強化 □困った時に相談できる先生がいる。70%以上 □防災訓練　　年２回 □交通安全教室　　年１回 □施設設備安全点検　学期１回 □地域防災訓練参加率 70%以上 □ＡＥＤ実習の実施
ケ	法令を遵守し、正確・迅速な事務及び会計処理を行う。 予算の適正な執行に努め、学校の特色化を図る。 **学校施設の保全に努め、教育環境の整備と安全・安心な学校づくりを推進する。**	・職員会議にてコンプライアンス研修及び職員安全衛生委員会を実施する。 ・優先順位の高いものから効率的・効果的な予算編成及び執行を行う。 ・新校舎への移転を組織として計画的かつ円滑に進める。 ・学校徴収金の明瞭化を徹底する。	□ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ研修　毎月実施 □教育活動に必要な経費の確保（予算執行残額 0.5%以下） □定期監査、会計・物品指導検査等における指摘事項　なし □施設点検を月１回以上実施

4　監査対象期間における特色ある取組

年　　度	取　組　概　要	成果及び課題
令和６年度	○社会で通用するマナー習得や社会的規範意識の育成のため、「ビジネスマナー」を「マナーの日（毎月７日）」を核として指導する。	○毎朝の登校指導や「マナーの日」の指導を通して、ルール遵守とマナーに配慮した行動がとれるように自覚を促すよう指導した。情報モラルやＳＮＳの使用法についても、全校集会や学年集会等を利用して指導した。時間厳守の指導（５分前登校）も継続的に指導を行い、生徒の意識の改善を図り、その徹底を図る。
	○就業に関わる体験的活動や計画的、体系的なキャリア教育を推進するために、産学官の連携、沼商屋等の充実を図り、望ましい勤労観や職業観を育成する。	○インターンシップは、34 の企業等に、２年生就職希望者 81 人が参加した。24 年目となる沼商屋については、大型商業施設の一画を２日間借りて実施し、勤労観や職業観を育成する一助として、地元企業からの高い評価を得ることができた。
	○地元企業等と連携して、地域の特性、資質を活用した教育活動の充実を図る。	○地元企業等（マーケティング関係企業、食品会社、商工会議所等）と連携して、商品開発、特産物販売、地域イベントへの参加等、企画・運営することができた。また、それらの成果を生徒商業研究発表大会の場で発表した。
	○マーケティングや課題研究の授業を通して、課題解決力、コミュニケーション力、情報発信力を実体験で学ぶ。	○課題研究や課外活動を通じて、外部組織と連携し、生徒の課題解決能力、コミュニケーション能力、情報発信能力を養成することができた。
	○昨年度同様、商業の基礎基本の徹底を図り、高度資格取得を目指すとともに、新学習指導要領実施、高大接続改革実施等を踏まえて、教職員研修の充実を図るとともに、ＩＣＴを活用した授業改善に取り組む。	○授業や補習等を通じて、資格取得を推進しつつ、資格取得にとどまらない社会で通用する応用力や課題解決能力を養うことができた。また外部研修への参加や校内研修の実施を通して、授業改善に向けての教職員の意識を高めることができた。
	○生徒の家庭学習を推進するため、週末課題や長期休業中の学習支援を、ＩＣＴを活用して行う。	○スタディサプリの教員研修を実施し、生徒のより積極的な活用を推進し、効果的な指導・支援を行った。次年度以降、より効果的な運用を考えていく必要が課題としてある。

年　　度	取　組　概　要	成果及び課題
令和７年度	○社会で通用するマナー習得や社会的規範意識の育成のため、「ビジネスマナー」を「マナーの日（毎月７日）」を核として指導する。	○毎朝の登校指導や「マナーの日」の指導を通して、ルール遵守とマナーに配慮した行動がとれるように自覚を深めよう促している。情報モラルやＳＮＳの使用法についても、全校集会や学年集会等を利用して指導を継続する。時間厳守の指導（５分前登校）も継続し、時間に対する意識や交通安全への意識を高める。
	○就業に関わる体験的活動や計画的、体系的なキャリア教育を推進するために、産学官の連携、沼商屋等の充実を図り、望ましい勤労観や職業観を育成する。	○インターンシップは、35 の企業等に、２年生就職希望者 104 人が参加した。25 年目となる沼商屋については、大型商業施設の一画を２日間借りて実施する計画である。
	○地元企業等と連携して、地域の特性、資質を活用した教育活動の充実を図る。	○地元企業等（マーケティング関係企業、食品会社、商工会議所等）と連携して、商品開発、特産物販売、地域イベントへの参加等、企画・運営を進めている。７月 30 日には、それらの成果を生徒商業研究発表大会の場で発表した。
	○マーケティングや課題研究の授業を通して、課題解決力、コミュニケーション力、情報発信力を実体験で学ぶ。	○課題研究や課外活動を通じて、外部組織と連携し、生徒の課題解決能力、コミュニケーション能力、情報発信能力を養成する。
	○昨年度同様、商業の基礎基本の徹底を図り、高度資格取得を目指す。また、教育課程の改善や、教育内容の精選・見直し等、中長期的な視野に立って、それらの改善を図る。	○授業や補習等を通じて、資格取得を推進しつつ、資格取得にとどまらない社会で通用する応用力や課題解決能力を養う。また、教育課程検討委員会や各教科等において、本校の魅力向上に向けその改善を推進する。
	○生徒の家庭学習を推進するため、週末課題や長期休業中の学習支援を、ＩＣＴを活用して行う。	○スタディサプリの教員研修を実施し、生徒のより積極的な活用を推進し、効果的な指導・支援を行っていく。

5　教職員について

（1）異動状況　　（単位：人）

職名／区分	本務職員														臨時・会計年度任用職員						合計
	教育職員							行政職員						本務計						臨時計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	主任技能員	小計		教諭（臨時）	ALT	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務員		
転出者		1		4			5	1					1	6						0	6
退職者				3			3						0	3	1	1	4	1		7	10
再任用（退職）				2			2						0	2						0	2
役職定年							0						0	0						0	0
転入者				3			3	1					1	4						0	4
新任者		1		2			3						0	3	1	1	2	1		5	8
再任用（新任）				3			3						0	3						0	3
役職定年							0						0	0						0	0
差引増減	0	0	0	△1	0	0	△1	0	0	0	0	0	0	△1	0	0	△2	0	0	△2	△3

（2）現　員　数　　（令和７年６月 30 日現在）（単位：人）

本務職員															臨時・会計年度任用職員						合計
教育職員								行政職員						本務計						臨時等計	
校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	主任技能員	小計		教諭（臨時）	ALT	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務員		
1	1	1	36	1	2	1	43	1	1	1	1	1	5	48	1	1	5	1	1	9	57

（3）健康管理について

教職員の身体的、精神的な健康の維持増進を図るために、次のような取組をしている。

ア　定期健康診断、生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック、脳ドック等全員受診を推進し、疾病の早期発見に心掛けている。令和６年度の健康診断受診率は100％であった。

また、検査結果により、再検査や精密検査の受診、早期治療の徹底を図っている。

イ　勤務時間管理システムを用いて、時間外勤務の多い職員を把握し、管理職による積極的な面談を実施する。また、健康管理医と連携し、健康チェック表を用いて面談希望を確認する。教職員の時間外勤務を削減し、良好な健康維持に努めていく。

ウ　職員安全衛生委員会を開催し、職場環境等の問題を把握し、解決策を検討している。

（４）教職員の研修について

	令和６年度	令和７年度
目的	○生徒が一台端末を用いて授業に臨むことによって、より効率的に、より幅広く、より深く学ぶことができる環境を構築する。 ○年次別研修者がそれぞれ有意義な研修を実践できるよう支援する。	○学習活動への自発的・主体的な取り組みを苦手とする本校生徒に対し、発達支持的な生徒指導の視点から、生徒への支援の在り方について教員の共通理解を深め、教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくり、共感的な人間関係を育成する学習集団づくりを通して社会的資質・能力の発達を支援する。 ○年次別研修者がそれぞれ有意義な研修を実践できるよう支援する。
研修内容及び成果	○５月に校内研修として、生成ＡＩの利用について研修会を実施した。 ○６月の校内研修期間では、「ＩＣＴ教材/一台端末を用いた授業づくり」をテーマに授業公開を行った。後期も同様に行う。 ○10 月の定期訪問では「ＩＣＴ教材/一台端末を用いた授業づくり」をテーマとして研修会を実施予定。 ○年次別研修者の研修報告会を計画し、研修内容を学校全体で共有する。 ○保健課と連携し、特別支援学校の教員を講師に招き、支援の必要な生徒についてケーススタディを計画している。	○４月・５月に保健課より生徒情報の共有を行った。 ○６月の校内研修期間では、「教科指導と発達支持的生徒指導を一体化させた授業づくり」をテーマに授業公開を行った。後期も同様に行う。 ○６月の定期訪問において、研究授業、教科研修会、校内研修会を実施した。校内研修会では「発達支持的な生徒指導の充実」をテーマとした講義や、生徒への支援の在り方を考える演習を通して理解を深めた。 ○人権に対する正しい理解、人権感覚の向上、多様性の尊重に向けて伝達講習を行う。 ○10 月の校内研修では、特別支援学校の教員を講師に招き、支援の必要な生徒についてケーススタディを計画している。 ○授業改善に向けて、生徒に授業に関するアンケートを行う予定である。 ○年次別研修者の研修報告会を計画し、研修内容を学校全体で共有する。
課題	○多忙化の進む中、教職員が意欲的に研修に取り組めるような働きかけが必要である。	○保健室・教育相談室の来室頻度が高い生徒への対応に、クラス担任、養護教諭、教育相談担当の教員が苦慮することがある。家庭の協力を得られない場合もあり、校内の連携だけでなく、専門機関を含めた組織的な支援の必要を感じる。

6　防災対策について

校務運営委員会を中心に、防災計画の策定、運営、評価を行っている。

全職員を適切に配置するとともに、学校ホームページと緊急連絡システムを活用するなど、災害時に生徒・保護者との連絡に混乱を生じることのないように備えている。

また、令和４年度から継続してジュニア防災士全生徒取得を目指し、地域（清水町）と連携した実践的な危機管理マニュアルの作成と検証を実施する。

＜防災訓練＞

令和６年度		令和７年度	
月　　日	内　　容	月　　日	内　　容
４月 10 日(水)	地区別避難経路確認	４月９日（水）	地区別避難経路確認
	緊急時生徒動静情報の収集		緊急時生徒動静情報の収集
	校内避難経路説明		校内避難経路説明
７月 23 日(火)	ジュニア防災士養成講座(ゴールド)	７月 22 日(火)	ジュニア防災士養成講座(ゴールド)
	地域連絡協会		地域連絡協議会
８月末～９月第１週	地域防災訓練	８月末～９月第１週	地域防災訓練
10 月　１日（火）	防災訓練（土砂災害・火災）	10 月１日（水）	防災訓練(土砂災害・火災)
12 月　１日（日）	地域防災訓練	12 月７日（日）	地域防災訓練
12 月　９日（月）	防災訓練、防災講話（１年のみ）	12 月８日（月）	防災訓練、防災講話（１年のみ）

7　学校開放について

地域住民の社会教育活動、スポーツ活動等生涯学習活動の振興や親睦行事のために、授業・部活動に支障のない範囲で施設を積極的に開放している。

（令和６年度）

施　設　名	利用種目	利用日数（日）	利用人数（人）	利用者負担
体　育　館	よさこい踊り	18	321	31,855 円
	バドミントン	37	256	
	バスケットボール	33	122	
弓　道　場	弓　　道	72	417	
計		160	1,116	

（令和７年度）

（令和７年６月 30 日現在）

施　設　名	利用種目	利用日数（日）	利用人数（人）	利用者負担
体　育　館	よさこい踊り	8	119	11,424 円
	バドミントン	11	112	
	バスケットボール	8	24	
	バスケットボール	12	68	
弓　道　場	弓　　道	19	113	
計		58	436	

□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項　　目	根　拠　法　令
1　学校教育に関すること	教育基本法（第１条、第２条） 学校教育法（第１条、第２条、第３条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第５条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第 18 条） 産業教育振興法施行令
2　学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条） いじめ防止対策推進法（第８条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第３条、第４条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条） 社会教育法（第 43 条、第 45 条、第 47 条）

□□□□□□

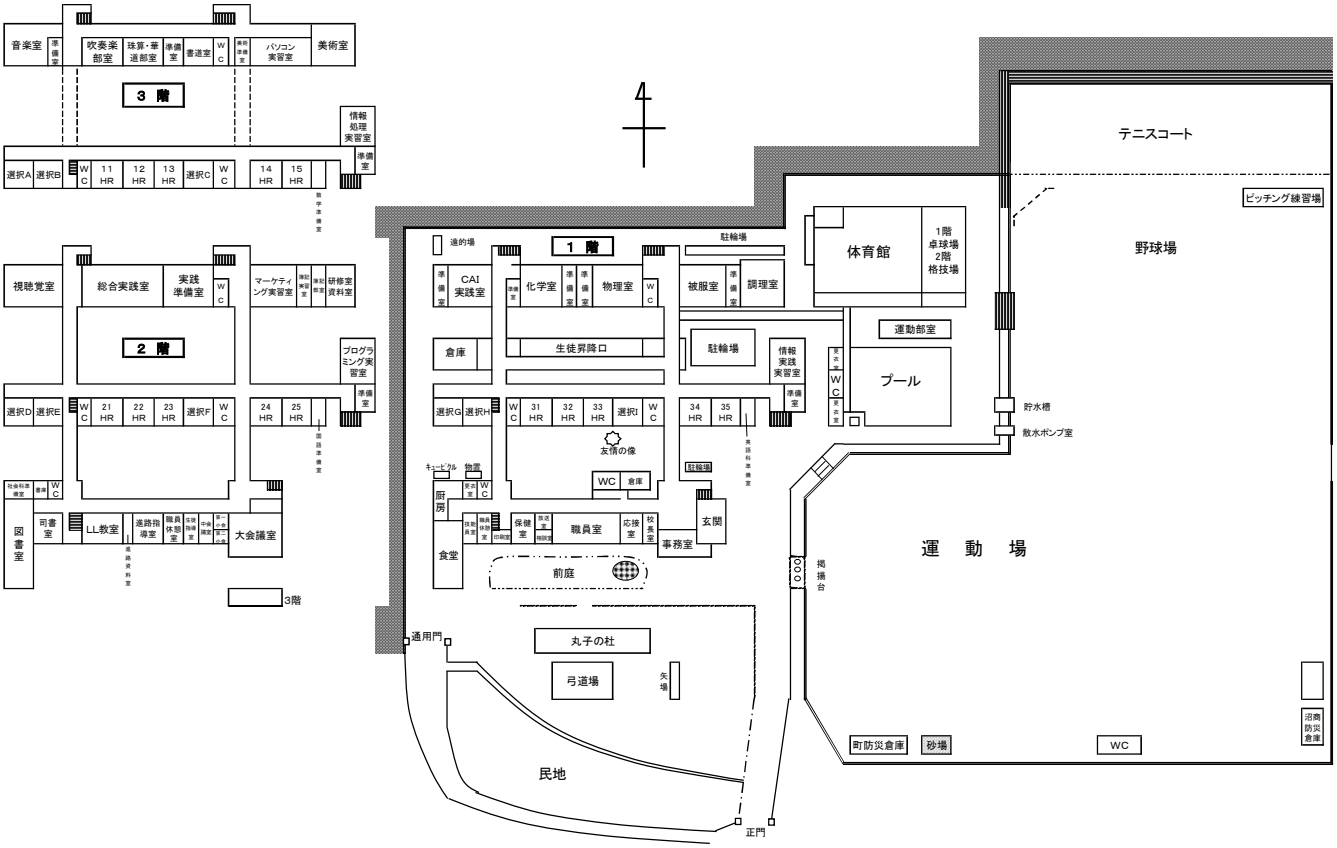
学 校 施 設 の 概 要

1　面積及び所有区分　　（令和7年6月30日現在）

区分		面積 ㎡	所有内訳 県有 ㎡	国有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民有 ㎡	摘要
学校敷地		75,514.90	75,514.90					
内訳	校舎敷地	25,535.00	25,535.00					
	運動場敷地	34,604.00	34,604.00					
	その他の敷地	15,375.90	15,375.90					
実習地								
内訳	田							
	畑							
	茶園							
	果樹園							
演習林								
校舎		建4,100.46 延9,558.64	4,100.46 9,558.64					
体育館		建1,650.00 延2,241.00	1,650.00 2,241.00					武道場を含む
武道場								
その他の建物		建1,451.36 延1,810.46	857.92 1,001.02			593.44 809.44		
寄宿舎								
生活館		建 430.85 延 836.81	430.85 836.81					
プール		1個	1個					25m・7コース
職員住宅								

2　配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2)学校施設の規模等(法面・実習林等を除く)

区　分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当　校	75,514.90㎡	9,558.64㎡	34,604.00㎡
県平均	45,604.83㎡	9,733.60㎡	22,480.60㎡

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

（令和7年6月30日現在）

学年	学科別／区分		総合ﾋﾞｼﾞﾈｽ科				情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ科				合　計			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入 学 者		80	29	53	82	80	29	25	54	160	58	78	136
		増加												
		減少												
	現　在			29	53	82		29	25	54		58	78	136
2年	入 学 者		120	39	61	100	80	35	30	65	200	74	91	165
		増加												
		減少		3	1	4						3	1	4
	2年時当初			36	60	96		35	30	65		71	90	161
		増加												
		減少			1	1			1	1			2	2
	現　在			36	59	95		35	29	64		71	88	159
3年	入 学 者		120	51	70	121	80	42	39	81	200	93	109	202
		増加												
		減少		1	1	2			1	1		1	2	3
	2年時当初			50	69	119		42	38	80		92	107	199
		増加												
		減少		2	3	5			1	1		2	4	6
	3年時当初			48	66	114		42	37	79		90	103	193
		増加												
		減少												
	現　在			48	66	114		42	37	79		90	103	193
合　計			320	113	178	291	240	106	91	197	560	219	269	488

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区　分		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
学科別		総ビ	情ビ	総ビ	情ビ	総ビ	情ビ	総ビ	情ビ	総ビ	情ビ
生徒定員（A）		120	80	120	80	120	80	120	80	80	80
募集者数（B）		120	80	120	80	120	80	120	80	80	80
志願者数	男	15	37	32	29	56	42	40	35	29	29
	女	61	46	74	38	70	40	61	30	53	26
	計（C）	76	83	106	67	126	82	101	65	82	55
受検者数	男	15	37	32	29	56	42	40	35	29	29
	女	61	46	74	38	70	40	61	30	53	25
	計（D）	76	83	106	67	126	82	101	65	82	54
合格者数	男	15	36	30	29	51	42	39	35	29	29
	女	60	44	73	38	70	39	61	30	53	25
	計（E）	75	80	103	67	121	81	100	65	82	54
志願倍率(C)/(B)		0.63	1.04	0.88	0.84	1.05	1.03	0.84	0.81	1.03	0.69
受検倍率(D)/(B)		0.63	1.04	0.88	0.84	1.05	1.03	0.84	0.81	1.03	0.68
入学者数	男	15	36	30	29	51	42	39	35	29	29
	女	60	44	73	38	70	39	61	30	53	25
	計（F）	75	80	103	67	121	81	100	65	82	54
充足率(F)/(A)		0.63	1.00	0.86	0.84	1.01	1.01	0.83	0.81	1.03	0.68

□□□□□□

卒 業 生 の 動 向 調

1　進路状況

学　科　別			総合ビジネス科			情報ビジネス科			(計)		
年　　度			４年度	５年度	６年度	４年度	５年度	６年度	４年度	５年度	６年度
卒業生徒数			102	70	96	80	77	65	182	147	161
内訳	(進学志願者)		53	33	40	48	44	29	101	77	69
	進学者	大学・短大	25	14	12	19	17	13	44	31	25
		専修・各種学校等	28	19	28	29	27	16	57	46	44
		小　計	53	33	40	48	44	29	101	77	69
	就職者		49	36	54	31	33	36	80	69	90
	自営者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進学準備者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		0	1	2	1	0	0	1	1	2
合　　計			102	70	96	80	77	65	182	147	161

2　求人状況

区　　分	４年度	５年度	６年度
就職希望者数	68	70	89
求　人　数	222	232	248
求人倍率	3.3	3.3	2.8

3　資格取得状況　　(令和６年度)

学　科　別		総合ビジネス科	情報ビジネス科	(計)
卒業生徒数		96	65	161
資格の取得状況	日商簿記１級	1		1
	日商簿記２級	13	3	16
	全商簿記１級	31	3	34
	全商ビジネス文書１級	8	20	28
	全商ビジネス計算実務１級	25	4	29
	全商情報処理（ビ情）１級	2	17	19
	全商情報処理（プロ）１級	1	18	19
	全商商業経済１級	35	13	48
	全商財務諸表分析	17	3	20
	全商英語検定１級	3	2	5
	基本情報技術者試験		3	3
	ＩＴパスポート試験		7	7
	実用英語検定２級		1	1
	実用英語検定準２級	2	1	3
合　　計		138	95	233

□□□□□□

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

（令和７年６月30日現在）（単位：人）

市 町 名	沼津市	清水町	三島市	長泉町	函南町	伊豆の国市	その他	合　計
生 徒 数	209	89	71	28	25	24	42	488
構成比％	42.8%	18.2%	14.6%	5.8%	5.1%	4.9%	8.6%	100%

(2) 通学方法

（令和７年６月30日現在）（単位：人）

区　分	自転車	交通機関	徒歩	その他	合計
生 徒 数	355	86	26	21	488
構成比％	72.8%	17.6%	5.3%	4.3%	100%

2　部（クラブ）の加入状況

（令和７年６月30日現在）（単位：人）

区　　分		運動部	文化部	未加入者	計
部（クラブ）数		9	8		17
男子	1年	46	12	0	58
	2年	48	23	0	71
	3年	54	36	0	90
	計（A）	148	71	0	219
	構成比％	67.6%	32.4%	0.0%	100.0%
女子	1年	35	43	0	78
	2年	31	57	0	88
	3年	39	64	0	103
	計（B）	105	164	0	269
	構成比％	39.0%	61.0%	0.0%	100.0%
合　計	(A)+（B）	253	235	0	488
	構成比％	51.8%	48.2%	0.0%	100.0%

□□□□□□
（全日制）

授業料収納状況調

（令和６年度）

期別	月別	調定の状況 1年 人員	1年 調定額	2年 人員	2年 調定額	3年 人員	3年 調定額	計 人員	計 調定額	収納の状況 納期内収納額	納期内収納額 収納率	納期後収納額	収入未済額	異動者等の状況
		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	
一期	4													A 期首収納権利発生額 ＝1,900,800円 (64人×9,900円×３月) B 収納権利増減額 ＝０円 C 収納必要額Ａ(±)Ｂ ＝1,900,800円
	5													
	6													
	7	17	504,900	32	950,400	15	445,500	64	1,900,800	1,871,100	98.4	0	29,700	
	8											29,700	0	
	計	17	504,900	32	950,400	15	445,500	64	1,900,800	1,871,100	98.4	29,700	0	
二期	7													A 期首収納権利発生額 ＝3,168,000円 (64人×9,900円×５月) B 収納権利増減額 7月1日:2年 就学支援金遡及認定▲1 1人×9,900円×５月 =▲49,500円 C 収納必要額Ａ(±)Ｂ ＝3,118,500円
	8													
	9													
	10	19	940,500	30	1,485,000	15	742,500	64	3,168,000	3,019,500	95.3	0	148,500	
	11			▲1	▲49,500			▲1	▲49,500	▲49,500		148,500	0	
	計	19	940,500	29	1,435,500	15	742,500	63	3,118,500	2,970,000	95.2	148,500	0	
三期	12													A 期首収納権利発生額 ＝2,494,800円 (63人×9,900円×４月) B 収納権利増減額 ＝０円 C 収納必要額Ａ(±)Ｂ ＝2,494,800円
	1	19	752,400	29	1,148,400	15	594,000	63	2,494,800	2,455,200	98.4	0	39,600	
	2											39,600	0	
	3													
	計	19	752,400	29	1,148,400	15	594,000	63	2,494,800	2,455,200	98.4	39,600	0	
合計		55	2,197,800	90	3,534,300	45	1,782,000	190	7,514,100	7,296,300	97.1	217,800	0	D 収納必要額 ＝7,514,100円

令和７年度（令和７年６月30日現在）なし

□□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区　　分	令和６年度	令和７年度 （令和７年６月30日現在）
	件　　数	件　　数
高等学校入学検定料	137	0
	137	0

□□□□□□□□

預　　金　　調

（令和７年６月30日現在）

金融機関名		預金種類	口座番号	口座名義人	残高　（円）	摘　　要
スルガ銀行 徳倉支店		無利息型 普通預金	758222	沼津商業高等学校 資金前渡者　中村　正義	0	給与受領口座
スルガ銀行 徳倉支店		無利息型 普通預金	421664	自振口　沼津商業高等学校 資金前渡者　中村　正義	0	公共料金等 自動振替口座
	残　高　合　計				0	

□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節　名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 （円）		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,431,431	
			特別支援学校費	特別支援学校管理費		369,600	
計					3,437,399	2,801,031	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		8,242,751	3,861,000
計					847,000	8,242,751	3,861,000
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		741,169	
計					138,600	741,169	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,200,000	
			高等学校費	高等学校管理費		54,410,600	
計					54,809,080	55,610,600	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和7年6月30日現在）

節　名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 （円）	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	182,957	0
計					182,957	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費					0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	9,500	0
計					9,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

（令和６年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	変更増減額	計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
1	（事務関係） 自家用電気工作物保安管理業務委託	仲田電気管理事務所	円 381,700	円 381,700	円 0	円 381,700	随契	R6.4.1 ～ R7.3.31	R6.6.3 R6.8.2 R6.10.4 R6.12.23 R7.2.7 R7.4.11	円 59,400 59,400 84,700 59,400 59,400 59,400 小計 381,700	自家用電気工作物保安管理業務	随契1号（少額）
2	廃棄物運搬処理業務委託	㈲野原商事	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	0	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	随契	R6.4.5 ～ R7.3.31	R6.5.27 R6.6.25 R6.7.26 R6.8.27 R6.9.25 R6.10.28 R6.11.27 R6.12.23 R7.1.29 R7.2.25 R7.3.26 R7.4.25	44,034 53,272 49,458 54,558 45,104 46,168 47,449 52,664 58,868 58,169 54,866 50,721 小計 615,331	廃棄物運搬処理業務	随契1号（少額） 単価契約
3	ガスヒートポンプエアコン点検業務委託	㈱ユアーズ静岡	1,851,300	1,639,000	0	1,639,000	一般	R6.7.9 ～ R6.9.30	R6.11.27	1,639,000	ガスヒートポンプエアコン点検業務	沼津西高校 沼津工業高校 沼津視覚特支 沼津聴覚特支
4	産業廃棄物等収集運搬及び処分業務委託	㈱東部処理	88,000	88,000	-11,000	77,000	随契	R6.9.6 ～ R6.12.20	R6.12.18	77,000	産業廃棄物等収集運搬及び処分委託（混合廃棄物）	随契1号（少額）
5	産業廃棄物等収集運搬及び処分業務委託	㈱東部処理	88,000	88,000	0	88,000	随契	R7.1.10 ～ R7.3.31	R7.3.14	88,000	産業廃棄物等収集運搬及び処分委託（混合廃棄物）	随契1号（少額）
	合　計	５件								2,801,031		
参考1	浄化槽保守点検業務委託	三友水処理㈱		971,850	0	971,850		R6.4.1 ～ R7.3.31			浄化槽保守点検業務	沼津東高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	㈱藤興産		4,180,000	0	4,180,000		R6.4.1 ～ R7.3.31			消防用設備等保守点検業務	沼津工業高校
参考3	警備業務委託	セコム㈱		8,316,000	0	8,316,000		R1.10.1 ～ R6.9.30			警備業務	沼津東高校
参考4	警備業務委託	セコム㈱		17,820,000	0	17,820,000		R6.10.1 ～ R11.9.30			警備業務	沼津東高校
参考5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	㈲一級建築士事務所アドス設計室		1,694,000	0	1,694,000		R6.8.13 ～ R7.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検業務	沼津西高校
	計	５件										

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

（令和７年度）
（令和７年６月30日現在）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
1	自家用電気工作物保安管理業務委託	仲田電気管理事務所	447,920	447,920	0	447,920	随契	R7.4.1 ～ R8.3.31	R7.6.5	68,640 小計 68,640	自家用電気工作物保安管理業務	随契1号（少額）
2	廃棄物運搬処理業務委託	㈲野原商事	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	0	単価契約 １回 3,850円 １Kg 16.5円	随契	R7.4.4 ～ R8.3.31	R7.5.27 R7.6.25	61,822 52,495 小計 114,317	廃棄物運搬処理業務	随契1号（少額） 単価契約
	合　計	２件								182,957		
参考1	浄化槽保守点検業務委託	三友水処理㈱		945,120	0	945,120		R7.4.1 ～ R8.3.31			浄化槽保守点検業務	沼津東高校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	㈱藤興産		4,378,000	0	4,378,000		R7.4.1 ～ R8.3.31			消防用設備等保守点検業務	沼津工業高校
参考3	警備業務委託	セコム㈱		17,820,000	0	17,820,000		R6.10.1 ～ R11.9.30			警備業務	沼津東高校
	計	３件										

□□□□□

負 担 金 支 出 調

（令和6年度）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和6年度 全国商業高等学校長協会 春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	開催要項による	学校管理運営に関すること	5,500	R6.4.24
2	令和6年度 全国高等学校長協会 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	学校管理運営に関すること	4,000	R6.5.10
3	令和6年度 清水町防火協会費	清水町防火協会	会則による	学校管理運営に関すること	3,000	R6.6.14
4	令和6年度 東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	学校管理運営に関すること	2,000	R6.7.3
5	令和6年度 高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,691,700	R6.7.31
6	令和6年度 全国商業高等学校長協会 秋季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	開催要項による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,500	R6.8.15
7	令和6年度 高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	22,641,300	R6.10.31
8	令和6年度 高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	R6.11.29
9	令和6年度 高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	18,018,000	R7.1.31
10	令和6年度 水道加入金	沼津市長	条例による	学校管理運営に関すること	1,200,000	R7.3.19
11	令和6年度 高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料	高等学校等就学支援金の支給に関する法律による	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 9,900	R7.3.21
計		11件			55,610,600	

□□□□□

負 担 金 支 出 調

（令和7年度）
（令和7年6月30日現在）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和7年度 全国商業高等学校長協会 春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	開催要項による	学校管理運営に関すること	5,500	R7.4.25
2	令和7年度 全国高等学校長協会 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	学校管理運営に関すること	4,000	R7.4.30
計		3件			9,500	

□□□□□

土　　木　　工

令和６年度なし

（参考）

整理番号	予算科目	工　事　名	工事箇所	当初設計金額	契約金 当初額	契約金 変更増減額
参考1	現年災害教育施設復旧費	沼津商業高等学校災害復旧工事（応急工事）	駿東郡清水町徳倉　地内	円 10,857,000	円 10,780,000	円 0
		合　計	1件	10,857,000	10,780,000	0

事　　調

額 計	契約締結方法	受　注　者	着　　手 完成(予定) 年　月　日	支 出 済 額	工 事 概 要	摘　　要
円 10,780,000	随契	山本建設 (株)	R6.7.3 ～ R6.12.13	円 10,780,000	土砂撤去積込 Ｖ＝160m3 大型土のう設置 Ｎ＝93袋	教育施設課
10,780,000				10,780,000		

□□□□□□

建　　築　　工

整理番号	予算科目	工　事　名	工事箇所	当　初設計金額	契　約　金	
					当初額	変更増減額
				円	円	円
1	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校選択教室６教室空調室外機修繕	駿東郡清水町徳倉地内	553,751	553,751	0
2	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校情報処理実習室空調機更新工事	駿東郡清水町徳倉地内	1,265,000	1,265,000	0
3	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校体育館照明器具更新工事	駿東郡清水町徳倉地内	2,563,000	2,563,000	0
		合計	３件	4,381,751	4,381,751	0
参考1	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校校舎等新築他工事（建築）	駿東郡清水町徳倉地内	2,796,134,000	2,788,500,000	925,617,000
参考2	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校校舎等新築他工事（電気）	駿東郡清水町徳倉地内	324,005,000	300,300,000	15,928,000
参考3	教育管理費	静岡県立沼津商業高等学校校舎等新築他工事（機械）	駿東郡清水町徳倉地内	363,176,000	341,000,000	-3,344,000
		合計	３件	3,483,315,000	3,429,800,000	938,201,000

事　　調

（令和６年度）

額 計	契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年　月　日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘　要
円 553,751	随契	ニッタエアソリューションズ株式会社	R6.6.26 ～ R6.8.21	円 553,751	選択教室６教室空調室外機修繕 スクロール式圧縮機　１組 電動弁本体　１組 電動弁コイル　１組 圧力センサー（高圧用・低圧用） １組 フロン回収　一式	—	令達年月日 R6.6.10 支払年月日 R6.9.17 随契１号（少額）
1,265,000	随契	ニッタエアソリューションズ株式会社	R6.7.26 ～ R6.8.30	1,265,000	情報処理実習室空調機更新工事 空調室内機　２台 空調室外機　２台 フロン回収　一式	—	令達年月日 R6.7.9 支払年月日 R6.9.19 随契１号（少額）
2,563,000	指名	株式会社古南電機商会	R7.2.28 ～ R7.3.19	2,563,000	体育館照明器具更新工事 仮設工事　一式 撤去工事　一式 更新工事　一式	—	令達年月日 R7.2.7 支払年月日 R7.4.28
4,381,751				4,381,751			
3,714,117,000	一般	山本・小野特定建設工業共同事業体	R5.10.14 ～ R8.2.27	1,182,700,000	校舎棟　鉄骨造　５階建 延床面積　9504㎡ 渡り廊下　鉄骨造　１階建 延床面積　35㎡ 上記に係る建築工事一式（外構工事を含む。電気・機械設備工事は別途。）	—	建築工事課
316,228,000	一般	近和電業株式会社	R5.10.25 ～ R8.2.27	36,030,000	校舎棟　鉄骨造　５階建 延床面積　9504㎡ 渡り廊下　鉄骨造　１階建 延床面積　35㎡ 上記に係る電気設備工事一式	—	設備課
340,384,000	一般	片野設備株式会社	R5.10.25 ～ R8.2.27	47,990,000	校舎棟　鉄骨造　５階建 延床面積　9504㎡ 渡り廊下　鉄骨造　１階建 延床面積　35㎡ 上記に係る機械設備工事一式	—	設備課
4,370,729,000				1,266,720,000			

□□□□□

公　有　財　産　調

（令和6年度）

区分	令和6年3月31日 現在		増		減		令和7年3月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 6,068,390		千円 1,411		千円 8,414		千円 6,061,387	
土地	㎡ 75,514.90	5,995,883					㎡ 75,514.90	5,995,883	
立木竹	本 88	1,132					本 88	1,132	
建物	㎡ 6,916.38 13,405.26	57,334				5,286	㎡ 6,916.38 13,405.26	52,048	
工作物	個 124	14,041	4	1,411		3,128	個 128	12,324	
普通財産		0						0	
土地	㎡ 0.00	0					㎡ 0.00	0	
公有財産に準ずるもの		153						153	
電話加入権	件 5	153					件 5	153	

（令和7年度）

区分	令和7年3月31日 現在		増		減		令和7年6月30日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 6,061,387		千円 2,863		千円 0		千円 6,064,250	
土地	㎡ 75,514.90	5,995,883					㎡ 75,514.90	5,995,883	
立木竹	本 88	1,132					本 88	1,132	
建物	㎡ 6,916.38 13,405.26	52,048	122.85 232.21	2,863			㎡ 7,039.23 13,637.47	54,911	
工作物	個 128	12,324					個 128	12,324	
普通財産		0						0	
土地	㎡ 0.00	0					㎡ 0.00	0	
公有財産に準ずるもの		153						153	
電話加入権	件 5	153					件 5	153	

□□□□□

借 地 借 家 等 調

（令和7年6月30日現在）

整理番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又は面積	借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台帳	現 況		単価	年 額			
						㎡	円	円			
1	建物	体育館渡廊下	駿東郡清水町徳倉1205		鉄骨折板葺平屋建	131.10㎡	無償	無償	R7.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会	生徒移動用
2	〃	自転車置場	〃		鉄骨トタン葺平屋建	48.00㎡	〃	〃	〃	〃	生徒駐輪用
3	〃	物置	〃		鉄骨スレート葺平屋建	58.99㎡	〃	〃	〃	〃	部活動用具保管用
4	〃	自転車置場	〃		鉄骨折板葺2階建	225.00㎡ 441.00㎡	〃	〃	〃	〃	生徒駐輪用
5	〃	便所	〃		ブロック造平屋建	35.35㎡	〃	〃	〃	〃	職員用便所
6	〃	雨天時投球練習場	駿東郡清水町徳倉1332－1		鉄骨折板葺平屋建	95.00㎡	〃	〃	〃	沼津商業高校同窓会	野球部雨天時練習用
計						593.44㎡ 809.44㎡					

□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和７年度）

（令和７年６月30日現在）

区 分	事業名又は契約名	内容	契約額	（契約額の年度別内訳）				
				４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
長期継続契約	電子複写機 賃貸借・使用契約	電子複写機２台 （契約日） R4.4.1	円 1,179,420	円 235,884	円 235,884	円 235,884	円 235,884	円 235,884

□□□□□

行 政 財 産 貸 付 ・使 用 許 可 調

（令和7年6月30日現在）

整理番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期 間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現 況		単価	年 額			
							円	円			
1	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	本柱1本 支線3条 支線柱1本	1,500	7,500	R4.4.1 ～ R9.3.31	東京電力ﾊﾟﾜｰｸﾞﾘｯﾄﾞ㈱ 静岡総支社長	電柱・支線設置用
2	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	支線1条 支線柱1本	1,500	3,000	R5.4.1 ～ R10.3.31	西日本電信電話㈱ 静岡支店長	電話柱・支線設置用
3	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 9.43	－	免除	R6.4.1 ～ R7.4.30	(一財)沼津商業高校後援会理事長	弓道部遠的場敷地用
4	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.36	－	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	照明用水銀灯敷地用
5	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.56	－	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	広域避難地標示板敷地用
6	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 5.52	－	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	同報無線子局敷地用
7	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 24.50	－	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	防災倉庫設置用
8	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 229.00	－	免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	雨天時投球練習場敷地用
9	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 187.00	－	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会理事長	食堂敷地用
10	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.90	－	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	明石海人顕彰歌碑建立用
11	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 2.00	－	3,020	R7.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会理事長	飲料用自動販売機設置用
12	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	m 9.60	－	780	R5.4.1 ～ R10.3.31	静岡ｶﾞｽ㈱導管ﾈｯﾄﾜｰｸ本部 導管保安・普及推進部 東部ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀｰ長	都市ガス供給鋼管埋設用
13	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 3.00	－	3,120	R7.4.1 ～ R8.3.31	静岡ｶﾞｽ㈱導管ﾈｯﾄﾜｰｸ本部 導管保安・普及推進部 東部ｾﾝﾀｰ ｾﾝﾀｰ長	都市ガス整圧器設置用
14	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.25	－	免除	R4.11.1 ～ R8.3.31	㈱東海ﾊﾞｽ沼津営業所取締役営業所長	路線バスバス停設置用
15	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 65.77	－	免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ・ｶｰﾌﾞﾐﾗｰ・標識設置用
16	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.35	－	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会理事長	道路標識敷地用
17	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.11	－	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会理事長	ｶｰﾌﾞﾐﾗｰ設置用

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
18	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 1.79	―	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	徳倉西耕地三組組長	防災倉庫設置用
19	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 2.90	―	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	徳倉西耕地四組組長	防災倉庫設置用
20	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 2.55	―	免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	徳倉西耕地三組組長	ごみ集積所設置用
21	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 1.26	―	免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	徳倉西耕地五組組長	ごみ集積所設置用
22	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 14.36	―	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	同窓会事務局敷地用
	土地	学校敷地		学校用地	学校用地	㎡ 10.35					同窓会事務局職員駐車場用
23	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 4.27	―	免除	R7.4.1 ～ R10.3.31	徳倉西耕地五組組長	防災倉庫設置用
24	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 0.99	―	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	木彫「よろこび」設置用
25	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 129.72	―	免除	R6.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	記念像・演台・築庭・記念碑敷地用
26	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 4.67	―	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	防災用毛布保管用
27	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 13.46	―	免除	R3.4.1 ～ R8.3.31	清水町長	防災倉庫設置用
28	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 0.02	―	免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	沼津商業高校同窓会長	看板敷地用
29	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 2.00	―	1,350,000	R7.4.1 ～ R8.3.31	サントリービバレッジソリューション株式会社沼津支店	飲料用自動販売機設置用
30	建物	事務所建	駿東郡清水町徳倉1205	鉄筋コンクリート2階建		㎡ 3.30	―	免除	R5.4.1 ～ R8.3.31	(一財)沼津商業高校後援会理事長	後援会職員使用敷地用
	土地	学校敷地		学校用地	学校用地	㎡ 10.35					後援会職員駐車場用
31	土地	学校敷地	駿東郡清水町徳倉1205	学校用地	学校用地	㎡ 地上 2.93 地下埋設物 39.21m	―	免除	R5.4.1 ～ R10.3.31	清水町長	公共下水道用
合計								1,367,420			

□□□□□□□□

主　要　備　品　調

（令和７年６月30日現在）

整理番号	区分 大・中	区分 小	品名．規格	利用状況	購入年月	購入金額
1	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	プレゼンテーション実習装置 サーバー１台 教師ＰＣ１台 生徒ＰＣ20台外	課題研究授業 週22時間（年間180日）	令和４年３月	円 17,380,000
2	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	総合実践実習装置一式 ﾊﾟｿｺﾝ45組(教師3)、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ3台外	総合実践授業 週21時間（年間180日）	平成22年3月	11,229,778
3	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	情報基礎実習装置一式 ＰＣ43台、プリンター３台外	情報処理授業 部活動用 週24時間（年間180日）	令和５年３月	9,955,000
4	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	情報応用実習装置 サーバー１台 教師ＰＣ１台 生徒ＰＣ42台外	情報処理授業 部活動用 週24時間（年間180日）	令和４年３月	9,680,000
5	10－２	その他の語学用器具	語学演習装置一式 ソニーLLC-5500MKⅡ	英語発音会話実習 部活動用 週２時間（年間180日）	平成3年3月	6,675,206
6	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	県立学校ＩＣＴ環境整備機器一式	情報処理演習授業 部活動用 週27時間（年間180日）	令和元年８月	5,957,928
7	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	パソコン教室用パソコン一式 ｻｰﾊﾞ1台、ﾊﾟｿｺﾝ42台(教師1)、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ3台	ビジネス情報管理授業 週３時間（年間180日）	平成23年8月	5,869,500
8	２－１	パーソナルコンピュータ（一式）	ICT活用授業用機器一式 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ(ｶｰﾄ付)5台、ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末40台、AppleTV5台外	各教科授業 週20時間（年間180日）	平成30年3月	3,153,600
9	１－14	エアコンディショナー	第１ワープロ実習室エアコン ナショナル 天吊型 2台	ビジネス情報管理授業 夏期週３時間（年間24日）	平成8年3月	2,688,300
10	２－１	パーソナルコンピュータ周辺機器	情報応用実習装置 音響装置、机外	情報処理授業 部活動用 週24時間（年間180日）	平成18年3月	1,628,675
11	３－３	プロジェクター	天吊プロジェクター一式	各教科授業用 週20時間（年間180日）	平成31年３月	1,374,840
12	２－３	ビデオ装置（単体）	ビデオプロジェクター 天井取付け型 100型	社会科授業 視聴覚教育用 週１時間（年間25日）	平成5年3月	1,130,000
13	１－99	その他の庁用器具	校内放送設備一式 3系統30局音声調整卓1台、袖卓2台ほか	連絡放送用 毎日使用（年間240日）	平成27年2月	918,000
14	１－４	移動書庫	移動書庫 オカムラR812WS*4 R8	図書保管用 常時使用	昭和63年12月	708,000
15	２－３	ビデオ装置（一式）	ビデオ装置（一式） モニターテレビ２ ビデオテープ	総合実践授業 週21時間（年間180日）	平成4年11月	615,213
16	10－５	生物用器具	生物用器具 オートクレーブ　島津	理科授業用 週１時間（年間30日）	平成11年1月	605,000
17	10－７	管楽器	カスタムオーボエ ヤマハ YOB811	部活動用 毎日使用（年間280日）	平成元年9月	576,800
18	10－７	管楽器	チューバ ケース付	部活動用 毎日使用（年間280日）	平成16年3月	540,457
19	１－４	たな	書架 キハラ304360木製３連６段	図書保管用 常時使用	平成10年３月	540,120
20	２－１	その他の情報処理機器	校内LANサーバ等一式	校務用、各教科授業用 常時使用	平成29年３月	529,308

□□□□□

職　員　調

（令和7年6月30日現在）

整理番号	職　名	氏　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　要
1	校長	中村　正義		□□□	□年□月	□□□□□□
2	副校長	瀧口　崇		□□□	□年□月	□□□□□□
3	教頭	青木　達之		□□□	□年□月	□□□□□□
4	事務長	渡邉　智	事務総括	□□□	□年□月	□□□□□□
5	教諭	鎌田　譲	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
6	教諭	大野　利丈	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
7	教諭	小川原　澄子	家庭	□□□	□年□月	□□□□□□
8	教諭	中川　孝	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
9	教諭	松井　一将	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
10	教諭	中村　一	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
11	教諭	森田　恭子	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
12	教諭	川原　誠司	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
13	教諭	河合　憲一	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
14	教諭	梶田　美奈子	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
15	教諭	勝又　ひろみ	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
16	教諭	米山　圭一郎	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
17	教諭	藤田　葉子	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
18	教諭	飯塚　正幸	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
19	教諭	杉田　知美	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
20	教諭	戸塚　裕之	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
21	教諭	齋藤　貴裕	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
22	教諭	臼井　辰典	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
23	教諭	小見山　秀彦	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
24	教諭	加藤　正明	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
25	教諭	松井　隆幸	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
26	教諭	中野　真人	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
27	教諭	小川　紅音	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
28	教諭	大久保　匡人	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
29	教諭	實石　太一	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
30	教諭	井内　亜由美	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
31	教諭	石川　真之輔	美術	□□□	□年□月	□□□□□□
32	教諭	諸田　千明	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
33	教諭	大津　芳彦	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□

整理番号	職　　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
34	教諭	片山　優香	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
35	教諭	堀水　航司	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
36	教諭	山本　知佳	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
37	教諭	山本　壮流	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
38	教諭	宮木　直	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
39	教諭	後藤　祐奈	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
40	教諭	望月　裕太	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
41	養護教諭	塩谷　知里	養護	□□□	□年□月	□□□□□□
42	主任実習助手	内野　真理	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
43	主任実習助手	山本　美智子	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
44	実習助手	池田　恵美子	商業	□□□	□年□月	□□□□□□
45	主査	野田　梨江	庶務・会計	□□□	□年□月	□□□□□□
46	主任	内村　ゆうき	施設・管財	□□□	□年□月	□□□□□□
47	主事	佐野　宏樹	会計・生徒	□□□	□年□月	□□□□□□
48	主任技能員	須佐　禎一	用務	□□□	□年□月	□□□□□□
				平均年数	□年	

付記

整理番号	職　　名	氏　　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　　要
1	教諭(臨)	髙野　美代子	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
2	外国語指導講師	ジャック・スレーター	英語	□□□	□年□月	□□□□□□
3	非常勤講師	齋藤　さゆり	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
4	非常勤講師	川口　三郎	音楽	□□□	□年□月	□□□□□□
5	非常勤講師	三浦　すみれ	書道	□□□	□年□月	□□□□□□
6	非常勤講師	加藤　由恵	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
7	非常勤講師	芹澤　智恵子	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
8	非常勤嘱託員	宮下　美知留	就学支援金	□□□	□年□月	□□□□□□
9	非常勤労務職員	和田　功幸	用務	□□□	□年□月	□□□□□□
10	校医	雨宮　徳直	内科	□□□	□年□月	□□□□□□
11	校医	平川　博秀	眼科	□□□	□年□月	□□□□□□
12	校医	栗田　満	歯科	□□□	□年□月	□□□□□□
13	校医	永倉　仁史	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□□□□
14	薬剤師	春田　晴美		□□□	□年□月	□□□□□□
15	健康管理医	杉山　安彦		□□□	□年□月	□□□□□□

□□□□□□□

職員の年齢調

（令和７年６月30日現在）

年　　齢	人　　員	摘　　要
２０歳未満	０人	
２０歳以上３０歳未満	６人	
３０歳以上４０歳未満	６人	
４０歳以上５０歳未満	１２人	
５０歳以上５６歳未満	１１人	
５６歳以上６１歳未満	９人	定年前再任用短時間勤務職員１人
６１歳以上	４人	暫定再任用
計	４８人	平均年齢４７．３５歳

□□□□□□□

健康管理

1　令和６年度受診状況

区　　分	内　　容
受 診 状 況	受診者数　48人 職 員 数　48人
受　診　率	100　%
県平均受診率	100　%

(1) 未受診の理由

2　令和７年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分			人　数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B１	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B２		要経過観察	人
C１	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人 人
C２		要経過観察	人
D１	平常の勤務でよい。	要 治 療	20人 (20) 人
D２		要経過観察	18人 (18) 人
D３		医療不要	９人 (９) 人
区分者計			47人 (47) 人
未区分者数			１人
合　　計			48人

(1) 管理区分Ａ～Ｃ２該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア　□□□□□　　人
イ　□□□□□　　１人
ウ　□□□□□　　人
エ　□□□□□　　人